



平成27年9月15日

九州地方整備局

九州運輸局

## 九州管内における外航クルーズの動向について（2015年上半期分）

九州運輸局及び九州地方整備局においては、2015年上半期における九州管内の外航クルーズ船寄港の動向を把握すべく、港湾管理者等への調査を実施しましたので、その結果を報告します。

九州管内における2014年の外航クルーズ船<sup>(注)</sup>寄港実績については、2012年の243回を超え、過去最高の245回となりました。2015年上半期寄港実績は、2014年上半期を大幅に上回る好調な実績となっています。

また、外航クルーズ船による九州管内の寄港地での「船舶観光上陸者数」<sup>(注)</sup>については183,746人となりました。（2014年の「寄港地上陸者数」<sup>(注)</sup>は65,899人です。）

九州への外航クルーズ船の寄港は今後も好調に推移していくと期待されます。

## 【問い合わせ先】

## 1. 「外航クルーズ船寄港実績」について

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

港湾物流企画室 室長

課長補佐

苔口 聖史（こけぐち きよし）

的野 賢司（まとの けんじ）

TEL：092-418-3379 FAX：092-418-3037

## 2. 「外航クルーズ船寄港地上陸者数」について

国土交通省 九州運輸局 海事振興部

調整官

港運課

課長補佐

天野 典彰（あまの のりあき）

増田 宏章（ました ひろあき）

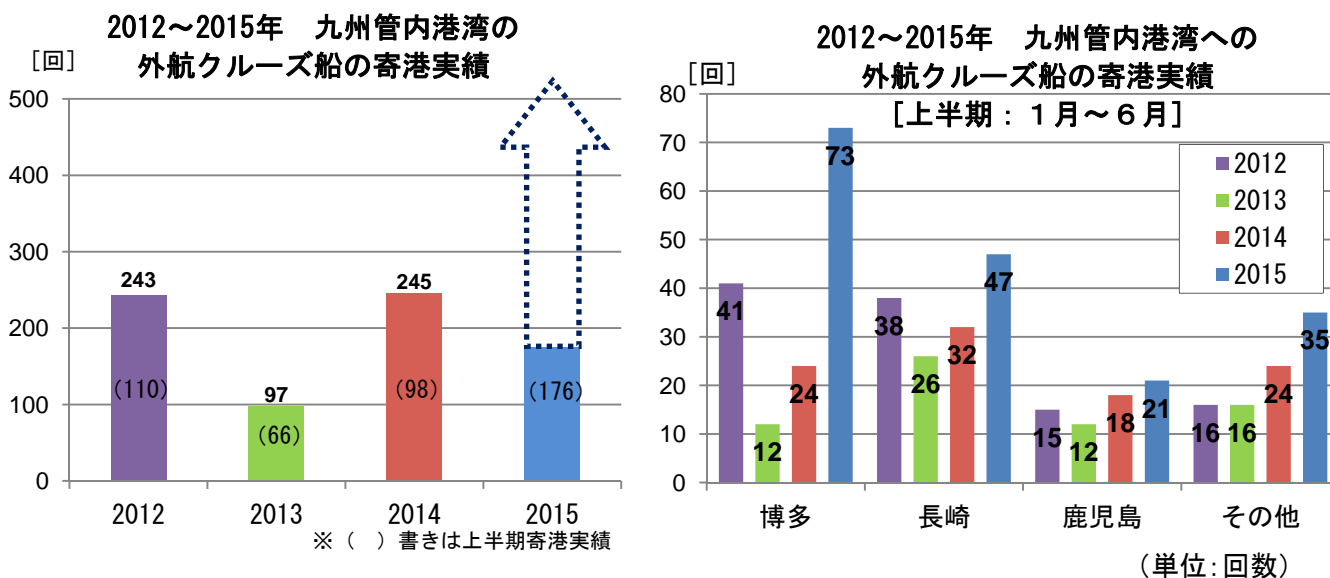
TEL：092-472-3157 FAX：092-472-3301

(注) 別紙の脚注参照

## 1. 九州管内への外航クルーズ船寄港の動向について：

九州管内における外航クルーズ船<sup>1</sup>の寄港は、尖閣問題により激減していた中国発着のクルーズ船が大幅に増加したことや、2014年4月より中国資本の新興クルーズ船社が日本寄港クルーズをスタートさせたことなどから、2014年には過去最高（245回）を記録したところです。

更に、2015年の上半期寄港実績については176回となっており、2014年の上半期寄港実績の1.8倍であり、今後の伸びに期待が寄せられるところです。



年	上半期寄港実績							(参考) 年間寄港数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期・計	
2012	2	11	27	32	19	19	110	243
2013	16	0	14	11	18	7	66	97
2014	4	5	8	22	39	20	98	245
2015	10	12	9	38	54	53	176	—

## 2. 九州管内への外航クルーズ船による船舶観光上陸者数の動向について：

2015年の1月～6月までの船舶観光上陸者数<sup>2</sup>は、183,746人となっています。2014年の同期間の寄港地上陸者数<sup>3</sup>の65,899人を大きく超えた要因としては、寄港実績の増加及び新たな船舶観光上陸許可（航路の限定緩和による対象船舶拡大等）の新設によるものと思われます。

(単位：人)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計 (1月～6月)	年間計 (1月～12月)
2014	4,600	2,621	11,496	12,509	18,099	16,574	65,899	198,008
2015	871	13,391	6,346	34,683	43,403	85,052	183,746	
対前年比	18.9%	510.9%	55.2%	277.3%	239.8%	513.2%	278.8%	—

(出典：法務省出入国管理統計)

<sup>1</sup> 外国籍船及び日本籍船であって、乗船地、下船地及び寄港地のいずれかに海外が含まれるもの。

<sup>2</sup> 「出入国管理及び難民認定法」第14条の2（船舶観光上陸の許可）による上陸者数である。

（一般上陸許可による上陸者は含めない。）※2015年1月1日施行

<sup>3</sup> 「出入国管理及び難民認定法」第14条（寄港地上陸の許可）による上陸者数である。（同上）